2018/1/8 CO合格 仙波氏



■ なぜオフ会で勉強しようと思ったのか

私はHRの技術者ですが、守備範囲を広げたいと思いました。 また、大学生のときに公認会計士の勉強をしていましたが、 途中でやめてしまって、そのときの借りを返したいと思っています(まだ認定を取れただけで実務の経験がない ので、プロジェクトに入りたいと思っています)。

■ オフ会で勉強してよかったこと

実機演習も役に立ちますが、やはり一番はコンセプト(COで実現したいこと)を説明頂けて、 質問したりして、理解できることだと思います。なかなかCOの概念を理解するのは難しいからです。

■ 認定試験を受けるにあたり苦労したこと

まとまった時間を確保することです。受けようと思ってから、一年近く経ってやっと受けました。

■ 試験合格のために効果的だと思われる勉強方法

自分は実務経験がなく、実力では太刀打ちできず、また知り合いに過去問暗記だけで受かると言われたので、 それだけやりました。過去問はインターネットで買うことができます。

試験は80問出題され、7割が合格点ですが、自己採点では、以下の感じで出題されましたので、 信頼性は高いです(結果は81点)。

- •70%は過去問と同じもの
- ・10%は過去問に近いもの
- ・20%は過去問にないもの

試験は英語で受けました。私のように過去問暗記を中心に勉強する方は英語が苦手でも絶対に英語で受けたほうがいいと思います。

理由は英語だと過去問と実際のテストとで同じ文言で出題されることが多く、過去問の威力が高まるからです。 問題を読まずに選択肢だけで解けるような問題もたくさん出ます。

一方で、過去問の日本語版は日本語が怪しく、テストのときの日本語と訳が食い違うことが多いと思います。

■ どのくらい勉強したか

過去問175問を暗記するのに年末年始休みを中心に30時間くらい勉強しました。 それ以外にはオフ会に参加しています。現在二年目(二週目)です。 ちなみに暗記用のスマホアプリとしてはMTestMというのが役に立ちました。

■ その他、感想

合格できてとてもうれしいです。 今度は実務でCOのプロジェクトに参加したいです。 オフ会の講師の廣田さん、またECHのみなさんどうもありがとうございました^^

2016/10/28 MM合格 仙波氏



私はHRの技術者ですが、他のモジュールにも仕事の幅を広げたいと思い参加しました。

■ オフ会で勉強してよかったこと

- ・業務概要を理解できたこと
- ・実機で演習できたこと
- ・質問をたくさんできたこと

■ 認定試験を受けるにあたり苦労したこと

- カスタマイズもマスタの項目数が多くて暗記するのが大変でした。
- ・勘定(評価)や承認など設定が複雑なところはなぜこのようになっているのかと理解が難しかったです。 (「ロット」や「特性」については出題されませんでした。)
- ・あとはモチベーション維持が大変でした。

■ 試験合格のために効果的だと思われる勉強方法

- ・主要トランザクションを叩くことと重要項目を押さえる(主要パターン(サービス、受託品etc)を網羅)
- ・主要カスタマイズ、テーブルの重要項目の押さえる(カスタマイズはプラント、 購買組織、 移動タイプだけでなく、品目タイプ、勘定グループなども)
- ・過去問の暗記

■ どのくらい勉強したか

- ・スキルチェンジセミナーの参加(3日間)
- ・自習(150時間くらい)

■ その他、感想

このような機会を提供いただきありがとうございました。

ー緒に勉強する仲間がいて、質問に答えていただける講師がいらっしゃって、実機を用意いただいて、 このセミナーがなければ、合格はありえなかったです。

スキルチェンジを目指されている方はぜひ受講するといいと思います!



2015年 FI/CO認定試験合格 Mさん

■ なぜオフ会で勉強しようと思ったのか

仕事の関係で認定試験を取得する必要があり、良心的な価格でトレーニングを受けられるから。

オフ会で勉強してよかったこと

- ① FI/COとも、それぞれのモジュールの全体像を把握できたこと。
- ② カスタマイズ、特に要となる部分にフォーカスして説明があり理解を補強することができた。
- ③ 会計モジュールだけでなく必要に応じてSD/MM/PPなど関連する他モジュールの説明があり他モジュールとの関連性の理解を深めることができた。
- ④ 理解のレベルにあわせて、トレーニングを選択できたこと。

■ 認定試験を受けるにあたり苦労したこと

① オフ会の復習

なるべくオフ会参加後時間が経っていない段階で復習を行い、また自分のノートを作り理解の定着に努めたがなかなかこの時間がとれなかった。

② オフ会でカバーされなかった認定試験範囲の自己学習。

■ 試験合格のために効果的だと思われる勉強方法

① オフ会の復習

オフ会直後の復習と自分で業務シナリオのバリエーションを考え復習することによる理解の定着。

② 参考図書の読み

工業簿記や原価計算の参考図書を読みCOの原価計算の根底にある考え方を理解した。

③ 英語参考資料の活用

英語参考資料に出てくるキーワードをGoogleに入力してSAPへルプを検索 その表示を日本語に切り替えて、内容を把握した。

■ どのくらい勉強したか

- ① オフ会の参加(70時間)
- ② オフ会の復習(30時間)
- ③ 業務シナリオのバリエーション復習や参考資料による補強対策(約100時間)

■ その他、感想

懇親会も色々な方にお会いしてお話を伺える貴重な機会でした。 認定資格取得のために大変有用なトレーニングを提供いただき本当にありがとうございました。

2014年 CO認定試験合格 渡邊さん

■ なぜオフ会で勉強しようと思ったのか

会社の教育目標でCOの認定試験を取得する必要があり SAPのカスタマイズ・操作を理解したうえで、受験したいと思いオフ会に参加しました。

■ オフ会で勉強してよかったこと

① 現場業務を踏まえたCOの説明

SAPのカスタマイズ・操作時に現場業務を踏まえた説明があり

現場ユーザがどのような時にトランザクションを使用し、

そのためにSAPコンサルがすべきカスタマイズという視点で勉強でき、理解が深まりました。

② 他モジュールの知識取得

管理会計の実習に必要なデータ作成のために、FI/SD/MM/PPなどのトランザクションを使用する機会があり、COだけでなく他モジュールについても学習することができました。

■ 認定試験を受けるにあたり苦労したこと

① オフ会の復習

現場で管理会計業務及びSAPに携わっていないため、オフ会の内容を理解することが大変でした。

② 対策問題の日本語訳

使用した対策問題が英語のため、SAP特有の英単語もあり、日本語へ翻訳するのに苦労しました。

■ 試験合格のために効果的だと思われる勉強方法

① 管理会計業務の勉強(10%)

Amazonで人気のある管理会計の書籍を読み、概要を把握しました。

② オフ会の復習(50%)

オフ会時にSAPの操作をスクリーンショットで撮影し、カスタマイズや操作を自宅で復習し、理解を深めました。 復習時は講師の方に説明をもとに、カスタマイズとトランザクションの関係を整理するように気をつけました。

③ 対策問題の学習(40%)

英語の対策問題を解きました。オフ会の内容を元に対策問題を理解しました。 またオフ会で説明されない内容は、Google検索し、解答を導けるようにしました。

■ どのくらい勉強したか

- ① オフ会の参加(50時間)
- ② オフ会の復習(50時間)
- ③ 対策問題の学習(100時間)

7ヶ月で200時間。

※ 対策問題は繰返し学習したため、時間が多くなりました。

■ その他、感想

オフ会はSAPを教えていただける貴重な環境のでした。

オフ会後に開催される懇親会も様々なことを学べる素晴らしい機会でした。

本当にありがとうございました。

2014年 CO認定試験合格 Aさん

■ なぜオフ会で勉強しようと思ったのか

業務上COの操作知識が必要となりました。他のモジュールとの関連性も一緒に学びたいと思い、 多種類のセミナーを実施している御社を発見し、参加しました。

■ オフ会で勉強してよかったこと

- ・COモジュールの基本操作を1から学べた
- ・他の参加者から出る質問によって、独学では気が付かないような知識を得られた
- ・質問をし易い雰囲気なので、解らないことをすぐに確認できた

■ 認定試験を受けるにあたり苦労したこと

受講中は必ず手順のスクリーンショットを取っていましたが、後日自身のSAP環境で必ずしも同じように試す事が出来なかった為、ひとつひとつの実機操作の目的を理解することが大変でした。カスタマイズに不慣れなため、「とりあえず設定するらしい」の姿勢のままでいると、後々混乱に陥りました。

■ 試験合格のために効果的だと思われる勉強方法

オフ会で習ったことを中心に、出来るだけ実機に触り一連の流れを覚えるのが効果的かと思います。 疑問に思ったことは、必ず同じような質問がインターネット上に挙がっているので、 都度検索をしてみるといいと思います。

■ どのくらい勉強したか

オフ会+自習約100時間

■ その他、感想

一回の内容が濃いので、初めて参加する時は大変かもしれませんが、徐々に慣れます。 ラフな雰囲気なので迷っている方は一度参加してみることを強くおすすめします。 知識だけでなく、様々なバックグラウンドを持つ方々と知り合える貴重な経験でした。 ありがとうございました。